

- ☑ 令和元年版環境白書公表
- ☑ 第7回食品産業もったいない大賞
- ☑ 事業活動報告、SEFからのお知らせ



## トピックス

### 令和元年版環境白書・循環型社会白書・ 生物多様性白書が公表されました（環境省）

去る6月7日に公表された今回の白書では、「持続可能な未来のための地域循環共生圏—気候変動影響への適応とプラスチック資源循環の取組—」をテーマとして、平成30年4月に閣議決定された第5次環境基本計画の中で提唱された「地域循環共生圏」の観点で、気候変動への適応とプラスチック資源循環について、各地域、各主体の取組や、ライフスタイルの転換に向けた取組事例等が紹介されています。公表された白書の全容は、下記リンクから環境省ホームページをご覧ください。

<http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/>

また、環境省では、全国7か所で「白書を読む会」を開催しています。この会では白書のテーマやねらいなどを環境省担当者が解説します（入場無料）。既に開催終了している地域もありますが、北海道、近畿、四国、九州は8月以降の開催です。詳しくは下記リンクから環境省ホームページをご覧ください。

<https://www.env.go.jp/press/104261.html>



## トピックス

### 「第7回食品産業もったいない大賞」 応募受付がスタートしています

(公財)食品流通構造改善促進機構では、農林水産省協賛のもと、「第7回食品産業もったいない大賞」の応募受付を開始しました。

この表彰は2013年度に創設されたもので、食品産業の持続可能な発展に向け、環境対策の一環でもある「エネルギー・CO2削減」、「廃棄量削減・再生利用」、「教育・普及」等の観点から、顕著な実績を挙げている食品関連事業者などを表彰し、世の中に周知することで、食品産業全体での地球温暖化・省エネルギー対策及び食品ロス削減等をより一層促進することを目的としています。

受付は8月30日(金)まで。自社の取組みについて客観的な評価を受ける機会、また情報発信の機会として、応募を検討されてはいかがでしょうか。

詳しくは下記リンクから主催団体のホームページをご覧ください。

<http://www.ofsi.or.jp/mottainai/>

SEF でご提供している“資源管理適正化支援システム「SEF-Net」”は、廃棄物の適正処理が円滑に行われ、再資源化促進への意欲を高めて頂くことを目的としたクラウドサービスです。

排出事業者の廃棄物管理業務の効率を高めるために、廃棄物管理に関わる全ての情報をデータ化します。そして、日常業務管理からコンプライアンス・リスク管理、事業者間のコミュニケーションに至るまで、廃棄物・資源物に関するあらゆる業務をクラウド上で管理することが可能なシステムです。

一部の事業者において義務化が予定される“電子マニフェスト”も、この SEF-Net を活用して運用管理することが可能です。

「インターフェイスの工夫による作業性向上」「複数個所での同時登録・修正が可能」「予約登録の件数の制限なし」など、電子マニフェストを運用管理するうえでのメリットも満載です。

電子マニフェストの導入支援も合わせて行っていますので、まずはお気軽に事務局 (TEL:03 - 5737 - 2744) までお問い合わせください。

詳しいご案内は SEF-Net ホームページをご覧ください。

<https://save-earth.or.jp/sef-net/>



SEFからの  
おしらせ

「ゼロエミッション研究会」第3回勉強会を  
8月22日(木)に開催します

参加者募集中

2017年度、SEF では排出事業者主体による廃棄物・資源循環に関する課題の解決をめざし、「ゼロエミッション研究会」と題して10回の勉強会と1回の見学会を開催し、多くの方にご参加頂きました。その中で参加者の皆様からは、机上だけでなく実践的な取組みを希望するお声を多く頂戴しました。一方で、食り法の基本方針見直しに向けた議論のなかで、外食産業における取組の促進が課題として挙げられています。そこで、2019年度のゼロエミッション研究会では、外食事業者の皆様を対象に、持続可能な食品リサイクルループの構築に関する知識やノウハウを学びながら、実際に再生利用事業計画の認定を受けて食品リサイクルループを開始することをゴールとした取組みを企画し、4月と6月に2回の勉強会を開催してきました。今期の取組地域は愛知県名古屋市を予定しており、名古屋市に店舗を構える外食事業者の方が対象ですが、勉強会・見学会には対象以外の方でもご参加いただけます。3回目以降からのご参加も大歓迎。ご参加をご検討、ご希望の方には過去の勉強会資料と議事録をお持ちし、ご説明に上がりますので、お気軽にご連絡ください。



内容の詳細、お申込みは SEF ホームページ下記リンクをご確認ください。

<https://save-earth.or.jp/archives/6254>

チラシ画像をクリックすると  
PDF ファイルでダウンロード  
いただけます

6月は初回活動日の前日に関東の梅雨入りが宣言され、実施が危ぶまれましたが、2日間とも時折雨に降られたものの、予定通り実施することができました。

8日の活動には、東京から大学4年生3名、地元山武から高校3年生1名が初参加。そして22日には、8日に参加してくれた高校3年生が友人を誘って2回連続で参加してくれました。

日向の森を散策しながらSEFの活動を紹介したあと、8日には5月に植樹したスギの支柱固定と、スタッフが日向の森から種を拾って育てたサンショウやケヤキなどの苗木を植樹。22日は路網の草刈りと植樹地下草刈りを行いました。22日の午後はスコールのような雨に見舞われましたが、びしょ濡れになりながらも普段できない体験を楽しんでいただけたようです。

※この企画は公益社団法人国土緑化推進機構の「緑の募金」の支援を受けています。



SEFからの  
おしらせ

9月23日(月)親子森林体験イベント  
～千葉県山武市「日向の森」～

参加者募集中

来る9月23日(月・秋分の日)、千葉県山武市「日向の森」にて『秋の森を楽しもう！親子で森林体験 in 日向の森』と題した森林体験イベントを開催します。  
このイベントは2017年より、春と秋に1回ずつ開催しています。  
ヒントが書かれた紙を頼りにゲーム感覚で自然観察を楽しむ『森歩き』、森を守り良い木材を育てる「林業」のお仕事を体験できる『山仕事体験』、森で採れる自然の素材を組み合わせて作る『森のクラフト体験』など、楽しさ満載の企画をご用意しています。皆様お誘いあわせのうえ、ぜひご参加下さい！

実施要項

日時 2019年9月23日(月)10時～13時 ※少雨決行、雨天中止  
会場 千葉県山武市市有林「日向の森」  
定員 40名(先着順)  
参加費 お一人500円(保険料、クラフト材料費、軽食代)  
対象者 小学生以上(未就学児のご参加については別途お問い合わせください)  
申込 9月2日(月)9時から、下記の方法で受付いたします

・SEF ホームページ <https://save-earth.or.jp/archives/4990>

・お電話／FAX／メールにて(本レター最終ページに記載)

※この企画は(公社)国土緑化推進機構「緑の募金」の支援を受けて実施します。



チラシ画像をクリックすると  
PDFファイルでダウンロード  
いただけます

# 8月・9月 森林保全活動 のお知らせ ボランティア 募集中!



SEFでは、各地域での森林保全活動をお手伝い頂けるボランティアさんを随時募集しています。

千葉県山武市では原則として毎月第2・第4土曜日（東京駅から送迎いたします！）に定例活動を行っているほか、

兵庫県丹波市、大分県臼杵市でも定期的にも実施しています。

直近の活動は下記を予定していますので、ぜひご参加ください。

## <8月・9月の活動予定>

千葉県山武市

8月10日(土)、8月24日(土)、9月14日(土)

※9月23日(月)イベントスタッフ

兵庫県丹波市

8月17日(土)、9月15日(日)

※日程は変更となる可能性があります。

最新の情報はホームページを参照ください。 <https://goo.gl/uEt3CZ>



## 企業・団体向け 森林体験プログラム 「森活」のご案内

Let's do Morikatsu together!



SEFがご提案する「森活」とは、「森を活かす」こと。

“森”での“活”動を通して、社会貢献活動の一環としての取組みに、またチームの関係性の基盤づくりや強化に、さらにはリラックス・リフレッシュのための福利厚生など、様々な効果につなげることができると考えています。

フィールドとしてご用意するのは日向の森（千葉県山武市）。都心からおよそ90分の好アクセスで、企業・団体の皆様の「森活」をお手伝いします。

皆様のご要望に応じたメニューをご提案しますので、まずはお気軽に事務局までお問い合わせください。

## 「森活」ってどんなことをするの？

季節に応じて、様々なプログラムをご用意しています。



植樹



下草刈り



間伐



ツル切り・枝打ち



薪割り



森林散策



クラフト

